

格安SIMで 地域活性化を

自由化事業協会
本社で説明会

携帯電話の格安SIMサービス「ペンギンモバイル」を展開する日本自由化事業協会（名古屋市中）は20日、八戸市のデーリー東北新社6階メディアホールで事業説明会を開いた。森勇樹

代表理事が講演し、格安SIMの普及を通じた地域活性化の方策を提言した。

同協会は、総務省から電気通信事業届出番号を取得し、2015年に設立した一般社団法人。NTTドコモの通信インフラを借り受けてサービスを提供しており、特定商取引法上の「連鎖販売取引」に当たるネットワークビジネスで販売代

理店を展開している。

森氏は格安SIMの利用状況について、「全国平均の普及率は十数%で、欧州の約40～50%と比べると少ない」と指摘。政府が携帯電話料金の引き下げを目指している現状も説明した。

ペンギンモバイルの特徴として「全国各地の代理店が口コミで広がっていくことで、それぞれの地元にも利益が還元される仕組みになっている」と紹介。「利用者の通信費が削減され、浮いた分の家計費が地元での消費になれば、地域活性化にもつながる」と述べた。

事業説明会には約50人が参加した。

（松原一茂）



日本自由化事業協会の
取り組みについて説明
する森勇樹代表理事
＝20日、八戸市